

## 催し物のご案内

2019年度 特別展

# アオバトのふしぎ ～森のハト、海へ行く～



開催期間：11月10日(日)まで  
 普段は丹沢の森にくらす若草色の羽が美しいアオバトは、春から秋にかけて、毎日のように大磯町の海岸に群れで舞い降りて海水を飲む姿が確認されています。地元で30年以上も観察を続けている「こまたん」との共催により、アオバトの一風変わった生態を標本や写真で紹介します。

「5年連続認定施設」の認定を受けました



旅行に関する世界最大の口コミサイト・トリップアドバイザーでは、「過去1年間一貫して旅行者から高い評価を得た施設」に「エクセレンス認証」を行っています。当館は5年連続(2015-2019)で高い評価を受けているとして「5年連続認定施設」の認定を受けました。

### 〔催し物への参加申込について〕

講座名・開催日・代表者の住所・電話番号・参加者全員の氏名・年齢(学年)を明記の上、往復はがきにて当館住所まで郵送、またはウェブサイトからお申込ください。応募者多数の場合は抽選となります。抽選で落選した方に対し、キャンセル待ちの対応を行います。ご希望の方は、お申込時に、その旨をご記入ください。参加費は無料ですが、講座により傷害保険(1日50円/1人)への加入をお願いすることがあります。

●「秋の里山の植物」

※IGES 国際生態学センターとの共催[横浜市(新治市民の森)]  
 日時/10月12日(土) 10:00～15:00 ※雨天中止  
 対象/小学1年生～成人 40人 ※小学生は保護者参加必須  
 申込締切/9月24日(火)

●「植物図鑑の使い方～樹木編～」[博物館]

日時/10月19日(土) 10:00～15:00  
 対象/小学4年生～成人 30人(専門的)  
 ※小学4年～6年生は保護者の付き添い必須、  
 その場合は幼児連れ可(当講座のみ)  
 申込締切/10月1日(火)

●「アニマルトラッキング入門」[博物館および博物館周辺]

日時/10月26日(土) 10:00～15:00 ※雨天中止  
 対象/小学1～6年生とその保護者 20人 ※保護者参加必須  
 申込締切/10月8日(火)

●「三葉虫ワークショップ～ジュールの中の化石をしらべよう～」[博物館]

日時/10月27日(日) 10:00～15:30  
 対象/中学生 24人 申込締切/10月8日(火)

●「秋の地形地質観察会」[小田原市(石垣山一夜城)]

日時/11月3日(日・祝) 10:00～15:00 ※雨天中止  
 対象/小学4年生～成人 30人 申込締切/10月15日(火)

●「先生のための地層と化石入門2019～大磯の地形・石材・化石～」  
 [博物館および大磯町]

日時/11月9日(土)・10日(日)の2日間 10:00～16:30  
 対象/教員 10人 ※2日間の参加が条件です。  
 申込締切/10月22日(火)

●「あなたのパソコンで地形を見る」[博物館]

日時/11月17日(日) 10:00～15:00  
 対象/学生・成人 8人  
 ※CDドライブ付きWindowsパソコンが必要です。  
 申込締切/10月29日(火)

●「軟体動物のからだのつくりを知らう」[博物館]

日時/12月1日(日) 10:00～15:30  
 対象/学生・成人 12人  
 ※指導者向け: 中学理科 第2分野(3) ウ(イ)対応。  
 申込締切/11月12日(火)

●「魚をもっと知りたい人のための魚類学講座①」[博物館]

日時/2020年1月18日(土)・19日(日)の2日間 9:10～16:00  
 対象/中学生～成人 10人(専門的) ※2日間の講座です。  
 申込締切/12月17日(火)

### ライブラリー通信 鳥類学者の目のツケドコロ

こばやし みずほ  
 小林 瑞穂(司書)

本書は都市部でも見かけるような、比較的身近な野鳥を中心に紹介した読み物です。著者はカラスを中心に研究をしている鳥類学者の松原 始氏。『カラスの教科書』など、カラスの本を何冊も出版しています。身近な野鳥を中心に、専門家の視点から解説していますが、小難しい言い回しなどは少なく、柔らかく噛み砕いて解説されているので、するする読めてしまうと思います。心持ちカラスの話題が多く、他の鳥の解説にも、ちよくカラスが引き合いに出されるのはご愛嬌でしょうか。

種ごとの身体構造の違いによる得手不得手や、住環境についての考察も興味深い。一概に自然豊かな場所の方が住みやすいというわけではなく、都市に適応している種もいるそう。元来の住環境に似た条件が揃えば、都市部を住処にする事もあるようで、鳥の目線で見ると、人間が考えているよりも、街中も案外居心地が良かったりするのでしょうか。普段何気なく見ている鳥も、行動を注意深く観察することで新たに見えてくるものがあり、今までとは野鳥を見る目がちょっと変わるかもしれません。



バレー出版 2018年

催し物の詳細については、  
 ウェブサイトをご覧ください。

問合せ先 企画情報部 企画普及課

生命の星



自然科学のとびら  
 第25巻3号(通巻96号)  
 2019年9月15日発行  
 発行者 神奈川県立生命の星・地球博物館  
 館長 平田大二  
 〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499  
 Tel: 0465-21-1515 Fax: 0465-23-8846  
 http://nh.kanagawa-museum.jp/  
 編集 本杉 弥生  
 印刷 株式会社あしがら印刷

© 2019 by the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History.

\* 冊子体には再生紙を使用しています。